

平成 26 年度奨励研究費（プロジェクト教員採用合格講座）

報告書（概要版）

目 次

| | |
|------------------------------|---------|
| 1. はじめに | … 2 ページ |
| 2. 平成 26 年度教職課程委員会活動方針での位置づけ | … 2 ページ |
| 3. 教員採用合格講座の概要 | … 3 ページ |
| 4. 成果と課題 | … 4 ページ |
| 収支報告書 | |

教 職 課 程 委 員 会
委員長 武井昭也

1. はじめに

本報告書は、札幌国際大学教職課程委員会が平成 25 年度に引き続き実施してきた「教員採用試験合格講座」での教育実践について総括し、「自ら考え、自ら行動し、自省する」本学の建学の礎を反映した教員養成についてプロジェクト教育を考察し、今後、より質の高い教員養成についてどうあるべきかについて現段階の取組みの成果を報告するものである。

2. 平成 26 年度教職課程委員会活動方針での位置づけ

平成 26 年度の教職課程委員会は、教員養成の質的向上など国の教員養成施策の目指す方向を踏まえ、本学における教職課程の運営および教員採用をめざす学生への支援等を一層充実させる。教員採用では、昨年度に引き続き体育・正式採用者など一定の成果が上がってきている。本年度はこれらを踏まえ、当該学科の活動への支援体制を強化し、キャリア支援センターとの連携協力により学生卒業生の支援にあたる。さらに、教育の質向上を目的に、教務部と連携して授業改善のモデルや情報提供、研修を企画推進する。と活動方針を定め、以下の項目をその活動とした。

(1) 教員として採用される資質を育てる教職課程の運営

- ① 実習担当教員を中心に学科及び本委員会全体で取り組む体制を充実させる
- ② 「教職実践演習」と「教職カルテ」等の点検整備を行う
- ③ 学内での採用試験準備講習を実施する

(2) 北海道教育委員会、札幌市教育委員会との協定に基づく学生ボランティアへの参加を促進し、意欲・熱意を持ってチャレンジする学生を育成する。

(3) 教員採用試験をめざす学生への支援

- ④ 1 年時から教員への意欲を高め、自学・自習及び共同学習の活性化、適切な支援、特別演習、試験対策講座、模擬授業、模擬面接等を実施する
- ⑤ キャリア支援センターと連携を密にし、計画的な支援体制を実施する
- ⑥ 教職課程委員会の活動規程の策定を検討する
- ⑦ 臨時採用者の本採用に向けた支援を行う

(4) 本学の将来計画の議論と関わりながら、教職課程の在り方等について検討し、提案する

(5) 北海道及び札幌市の教育委員会等との連携を密にする。

(6) 教員採用試験をめざす学生への支援環境整備を行う。教職課程対策室を拡充整備し、学習及び面接指導、教職図書コーナーを充実する。

(7) 私立大学教職課程研究協議会等との連携を密にし、教員養成の動向に適切な対応ができるようにする。

(8) 教育の質向上を目的に、教務部と連携して授業改善のモデルや情報提供、研修を企画推進する。

2. 教育に関わる就職先一覧（2014. 3. 31 現在）＊教員免許取得者数

平成 24 年度 ＊教員免許取得者 22 名（心理学科 2、スポーツ指導学科 20）

| 正採用 6 名 | 臨採 5 名 |
|--|--|
| 心理学科－公益法人さっぽろ青少年女性活動協会指導員／スポーツ指導学科－道立高等学校教員・道立特別支援学校寄宿舎指導員・国立青少年自然の家指導員・私立学園指導員・NPO 法人介護職員 | 心理学科－札幌市児童会館指導員／スポーツ指導学科－道立特別支援学校教員・道立高等学校特別支援員（26 年 4 月から町の正式職員）・札幌市立特別支援学校教員・札幌市児童館指導員 |

平成 25 年度 ＊教員免許取得者 30 名（現代文化学科 3、心理学科 5、スポーツ指導学科 22）

| 正採用 6 名 | 臨採 7 名 |
|---------|--------|
|---------|--------|

| | |
|---|--|
| 現代文化学科－私立中学校事務職員／心理学科 －公益法人さっぽろ青少年女性活動協会指導員 ／観光学科－道立高等学校事務職員(23年度卒) ／スポーツ指導学科－公立中学校教員(24年度 卒業生)・私立高等学校教員・道立特別支援学校 寄宿舎指導員 | 心理学科－児童サービス指導員／スポーツ指 導学科－道立高等学校教員・私立学校中等部高等部 教員・道立特別支援学校教員2名・道立特別支援学 校寄宿舎指導員・国立青少年交流の家指導員 |
|---|--|

平成26年度 *教員免許取得者22名(現代文化学科3、心理学科5、スポーツ指導学科14)

| | |
|---|---------------------|
| 正採用6名 | 臨採3名 |
| 現代文化学科－練成会グループ指導員／心理学 科－公益法人さっぽろ女性活動協会指導員／ス ポーツ指導学科－高等学校教員・公益法人さっ ぽろ女性活動協会指導員・練成会グループ指導 員 | スポーツ指導学科－道立高等学校教員3名 |

3. 教員採用合格講座の概要

| 回数 | 時間 | 内容 | 教室 | 講師(予定) | 備考 |
|----------------|-----------------|--|----------------|-----------------|-------------------------------|
| 第1回 4/26(土) | 13:00～ 16:00 | 「教員採用試験とは」 「教員採用試験の概要」 「講座の趣旨説明」 | 【252】 【253】 | 藤岡・齋藤・松井・ 横田 | ○講演 90分 ○説明 60分 ○説明 30分 |
| 第2回 5/10(土) | 13:00～ 16:00 | 「集団面接指導」 「模擬授業」 | 【252】 【253】 | 藤岡・齋藤・濱本 | ○面接・評価 90分 ○授業・評価 90分 |
| 第3回 5/17(土) | 13:00～ 16:00 | 「集団面接指導」 「模擬授業」 | 【252】 【253】 | 藤岡・松井・横田 | ○面接・評価 90分 ○授業・評価 90分 |
| 第4回 5/31(土) | 13:00～ 16:00 | 「個人面接指導」 「模擬授業」 | 【252】 【253】 | 藤岡・齋藤・松井・ 濱本 | ○面接・評価 90分 ○授業・評価 90分 |
| 第5回 6/7(土) | 13:00～ 16:00 | 「個人面接指導」 「模擬授業」 | 【252】 【253】 | 齋藤・松井・横田 | ○面接・評価 90分 ○授業・評価 90分 |
| 第6回 6/14(土) | 13:00～ 16:00 | 「集団面接指導」 「模擬授業」 | 【621】 【624】 | 濱本・横田 | ○面接・評価 90分 ○授業・評価 90分 |
| 第7回 6/28(土) | 13:00～ 16:00 | 「集団面接指導」 「模擬授業」 | 【252】 【253】 | 藤岡・齋藤・松井・ 横田 | ○面接・評価 90分 ○授業・評価 90分 |

教員採用試験(一次)

| | | | | | |
|-----------------|-----------------|-----------|----------------|-----------------|--|
| 第8回 7/12(土) | 13:00～ 16:00 | 「直前総対策講座」 | 【252】 【253】 | 藤岡・齋藤・濱本・ 横田 | |
| 第9回 7/19(土) | 13:00～ 16:00 | 「直前総対策講座」 | 【252】 【253】 | 藤岡・齋藤・濱 本・横田 | |
| 第10回 7/26(土) | 13:00～ 16:00 | 「直前総対策講座」 | 【252】 【253】 | 藤岡・齋藤・濱 本・横田 | |
| 第11回 8/2(土) | 13:00～ 16:00 | 「直前総対策講座」 | 【252】 【253】 | 藤岡・齋藤・濱 本・横田 | |

教員採用試験(二次)

*第5回 5/31(土)から第7回 6/14(土)までは、教育実習などの関係から講座を休止することも考えられます。詳細は、事前に教員から指示します。

成果と課題

教育現場において、学校のリーダーである校長は、初めて教師として採用された初任者教員についてその能力を「力は不足している」と厳しい評価を下している。教師の仕事に対する使命感や責任感は感じられるものの、授業づくり、教材解釈の力、集団指導の力、生徒指導力において「とても不足している」と評価しており、このことからみても、大学教育に求められる（養成すべき）資質能力とは何かを示してくれている。本プロジェクトである「教員採用試験合格講座」の実施を通じて次のような成果と課題がみえてきた。

まず、各種教員採用模擬試験の結果の推移から、大学3年生までに偏差値50程度の基本的資質能力を身につけていなければならないことが判明した。だが、模擬授業や集団面接・討論は本学学生の一般的傾向は見えただけで、指導による学生の資質向上の確認や、成果の「見える化」。および、最低限身につけるべき資質能力の目標値の設定について課題があることがわかった。しかし、学生への継続的な指導は、講師や学生の意見からも資質向上が自覚され、確かに成果が上がっている。各講師の言葉をかりなら「潜在的にも学生の能力が向上している」ことがわかった。そして、それ以上に学生自身が継続的指導によって、教職への志望や意義を多いに感じてきたこと、学生たちの教員になりたい、採用試験に合格したいという意欲の向上が高まってきた結果、採用試験の受験者増、寄宿舍指導員の合格者など教員採用試験だけでなく、その周辺領域の充実をももたらしたといえる。もちろん、学生の育成はあくまで学科の献身的な指導によるところが大きい。しかし、本プロジェクトもあいまって、平成26年度の教員採用試験の合格者（採用者）の輩出（昨年1名、今年度3名）、一次合格者の増加、寄宿舍指導員への採用試験合格など数字の面で確実な成果をあげることができた。しかし、次年度以降もこれらの施策の改善策を導き出し、解決と成果に向けて継続的な取り組みを実施することが重要であり、学生の継続的な指導こそが彼らの意欲を高め、結果、これらが数字となって導き出されるといえるのではないだろうか。

今後も本学における教員養成の在り方を追求し、質の高い学生の育成に努めることが重要である。

最後に、「平成26年度特別教育プロジェクト」として助成をお認め頂いたことに深謝したい。

平成 26 年度特別教育プロジェクト

教員養成合格講座 収支報告書

申請・担当者 教職課程委員会 委員長 武井昭也
 実施期間 平成 26 年 4 月中旬～7 月末まで
 対象学生 保健体育科、社会科・地歴公民科の教員採用試験を受験（予定）する本学学生

教育研究経費収支内訳

| 小科目 | 平成 26 年度 予算要求額 | 平成 26 年度 決算額 | 主な使途 | 主な内容 |
|---------------|-------------------|-----------------|------------------------|---|
| 消耗品費・光熱水費 | 0 | 0 | | |
| 通信運搬費 | 0 | 0 | | |
| 印刷製本費 | 0 | 0 | | |
| 旅費交通費 | 0 | 0 | | |
| 賃借料 | 0 | 0 | | |
| 支払報酬 | 233,870 | 233,870 | 講師謝礼 13 回分 交通費込み、税込 | 各回一律 16, 705 円／人×13 回 講師 1 7 回 116, 935 円 講 師 2 7 回 116,935 円 |
| 委託管理費 | 0 | 0 | | |
| 雑費（アルバイト料を含む） | 0 | 0 | | |
| 教育研究用機器備品 | 0 | 0 | | |
| 図書 | 0 | 0 | | |
| 合計 | 予算額 233,870 | 支出額 233,870 | 残額 | 0 |